《めざす学校像》　いきいきとした学校　　たのしい学校　　きれいな学校

元気いっぱい
笑顔いっぱい
花いっぱい
宇久小学校

宇久っ子

宇久小だより第８号
平成２９年７月１３日
文責　白石　さとみ

６月２２日　ふれあい給食

お話広場のあと、ふれあい給食を行いました。保護者、地域の皆様合わせて４４名のご参加をいただきました。お話広場の和やかなムードのまま、三世代で仲良く、おいしい給食をいただきました。笑顔いっぱいの給食時間となりました。





６月２３日　昔遊び（１～４年生）

老人会の皆様に昔遊びを教えていただきました。紙製のこま、ぶんぶんゴマ、水鉄砲の３種類を教えていただきました。

一番苦戦したのは、水鉄砲です。竹に布を巻いて、紐で結ぶのですが、かたく巻きつけることがなかなかできません。最近では、くつ紐もマジックテープになって、紐を結ぶ機会もすくなくなりました。生活の中でいろいろなことを経験させていかなければならないと思いました。



案の定、水を飛ばそうとすると、「布が抜けました。」「水が入りません。」「水が、手前に出てきます。」と、不具合を訴える子どもが続出。先生方は修理に追われていました。しかし、だんだん慣れてくると、自分で手直しをしながら、遊び方も工夫するようになりました。





遊びを通して、手作りのよさ、工夫しなが

らよりよいものを作りあげるおもしろさを知ることができました。暑い中に、ご協力いただきました老人会の皆様、ありがとうございました。

６月２９日（木）　平和集会



６．２９平和集会の準備を進める中で、宇久島でも空襲があり、２名の方が犠牲になっていたことがわかりました。当時のことを知っている方にお話が聞けないものかと思案しているところへ、PTA 会長の中村様から、山口直是様をご紹介していただきました。

山口さんは、小学校２年生のときに終戦を迎えたということで、宇久空襲のあった日のできごとや防空壕に避難していたことなどを話してくださいました。

「皆さんは、平和な時代に生まれて幸せですね。」といって涙ぐむ姿に、小学２年生で戦争を体験した山口さんの辛さや悲しさ、戦争の恐ろしさを改めて感じました。

最後は、PTA 会長様から、「今、宇久島があるのは、当時、宇久島を守ってくれた方々のおかげです。捕虜をいじめたり、敵機を攻撃したりしていたら、宇久島はなくなっていたかもしれません。皆さんも生まれていなかったかもしれません。守っていただいた宇久島や自分の命を大切にしましょう。」と、お話がありました。

「いのちを大切にすること」「相手を思いやること」「みんなで協力すること」は、大切にしていきたい宇久島の心です。

貴重なお話をしていただきました山口様、PTA 会長中村様、ありがとうございました。





６年生からのお願い

ぼくたちは、修学旅行で長崎に行きます。平和公園や原爆資料館を見学して、平和について考えます。そこで、みんなで折った鶴をささげたいと思います。平和の祈りをこめてみんなで１０００羽鶴を作りましょう。

地域の皆様の「すべては、宇久島の子どもたちのため」という思いを強く感じた学校開放週間でした。この夏休みには、そんな地域のために、自分にできることを考えて活動させたいと考えています。「何ができるかな。」一緒に考えていただければと思います。

